

生活が大きく変わる5Gの世界

最近、5Gという言葉聞きませんか？5Gとは「5th Generation」第5世代移動通信システムのことをいいます。5Gの主な特徴は①超高速・大容量、②多数同時接続、③低遅延です。

現在の通信システムは4Gですが、5Gになると大容量のものが現在の100倍ものスピードで通信できるようになるそうです。例えば、映画をまるごと1本ダウンロードするのが5秒程度でできるようになります。さらに5Gにより2020年代には自動車や家電などあらゆるモノがネットワークにつながる時代になると言われており、私達の生活に革命が起こると大きな期待が寄せられております。なんと4Gの10倍もの端末が同時接続可能となるそうです。また、この技術は自動運転になくてはならない技術です。現在の0.05秒の通信遅延が生じる4Gで自動運転を行うと、100km/hで走行中の車が異常を検知してから、実際に停止動作に入るまで1.4mも進んでしまうそうです。しかしこれが5Gの通信システムですと、2.8cm程度にまで縮めることができるようになるのだそうです。これは衝



突事故などのリスクを格段に減らすことのできる画期的な技術進歩ですよね！さらに、5Gはロボットの遠隔操作、医療ロボットの自動操縦など最近発達してきた技術には不可欠なものとなっていくそうです。

(待ち望まれる自動運転)

政府は6月、官民の総合的なデジタル戦略をまとめた「IT新戦略」を閣議決定いたしました。全国に設置している20万8千基の信号機を第5世代（5G）移動通信システムの基地局として活用できるようにすることが柱です。自動運転や遠隔医療などを実現し、生活や産業を飛躍的に成長させる5Gをめぐり国際競争が激しさを増す中、既存の設備を使って早期に低コストで技術を普及させ、勝ち残りを狙います。今年度中に信号機に設置する5Gアンテナの仕様案などを策定し、5Gの本格的な商用サービスが始まる来年度から実証実験を行い、令和7（2025）年度には全国展開の完了を目指すとのこと。信号機の通信ネットワーク化も進める予定で、通信機能のある信号機は現在3割程度にとどまりますが、これが全体に広がれば、災害時に信頼できる通信網として活用できるほか、信号機から周辺の交通情報を収集・送信することで渋滞緩和や自動運転の早期実現にも弾みをつけられるそうです。



(信号機がアンテナに早変わり?)

先日、明和町のIT関連産業のトップに行く某企業の幹部のかたにお話を伺ったところ、5Gがもたらす果実を得ようと、世界中の企業がその動きを加速し始めているとのことでした。日本ではNTTドコモなど携帯大手4社の総投資額は5兆円規模とされ、まさに「ここ掘れワンワン」状態で、東京オリンピック後の景気先導役となるということです。言い換えれば、5G規格が全ての器機の買い替え需要にもなり、日本経済ひいては世界経済の先導役になっていきます。私も5Gの進展により、この明和町が更なる発展を遂げるだろうと未来に大きな期待を寄せております。

明和町はこれから、入ヶ谷南工業団地、東部工業団地、駅前開発、122バイパス集客施設の誘致、アドバンテスト南工業団地、各学校の建て替え、変則十字路の整備、農面道路のバイパス化、館林ICからの進入道路の整備、川俣駅南側踏切の拡張整備、各企業の住宅団地整備と限りなく事業は続きます。これにより明和町の借金財政は好転し、稼ぐ力と財政力のある町に転換し、これからさらに加速するであろう高齢化社会における社会保障費の高負担に対して、耐え得る財政を作り出します。持続可能な活力のある町として、食事と買い物ができて、医療、福祉そして教育も充実した安心安全なオールインワンの町をつくれるように、これからも見果てぬ夢に向かって頑張りますので、よろしく願いいたします。

楽しみだね！輝け未来の明和町！

令和元年9月27日

明和町長 富塚もとすけ